

令和6年度スタート

校長 河口尚志

今年の春は、例年よりかなり遅く、桜が開花しました。
開花を心待ちにしていたことでしょう。

桜の開花は、日本では特別な瞬間であり、春の喜びを分かち合う機会です。桜の花が咲くことで、新たな始まりを迎えることや、自然の美しさに触れることができます。開花は人々に希望や幸せをもたらす大切な瞬間でもあるのです。



令和6年度がスタートしました。

4月は出会いの時です。様々な人やモノに出会うことで、それに伴う新しい自分と出会うこととなります。例えば、学校では、新しい人を迎え、組織も替わり、それぞれの立場も替わります。

教職員は新たな立場で再度自分と向き合い、新鮮な気持ちで子供たちと関わっていこうという決意をする時です。

子供たちも、クラス替え等があり、新しい学級での新学期となります。自分の目標をもち、力を発揮してほしいと思います。

さて、お子様のご入学、ご進級、おめでとうございます。

6年度の活動が1人1人の成長にとって素晴らしいものとなりますよう、職員一同力を合わせて進めていきます。

本校の教育目標は次のとおりです。

やさしく つよく かしこく

今年度も「かしこく」を重点目標とし、主体的な学びを通して「確かな学力」「生きる力」を育てていきます。1つの目標に重点を置いて取り組むことで、波及効果が生まれ、結果的にすべての目標達成につながっていきます。

この目標を実際に具現化していくのが本校の教職員です。

授業や行事等、すべての学校生活の中で、教職員が一丸となり、子供たちのために力を発揮します。さらに、

- 自信とやる気を持ち、互いにかかわり合い、高め合う子供
- 教育のプロとしての自覚をもち、常にスキルを磨き続ける教師
- 保護者や地域から信頼され、誇りに思える学校

という子供像、教師像、学校像を目指し、学校と家庭、地域がそれぞれの役割を十分に果たしながら、子供たちの健全な成長に向けて共に歩んでいきたいと思えます。

保護者、地域の皆様には、昨年度同様、引き続き学校を支えていただきますようお願いいたします。